

1. お知らせ

九州支部会議の案内

今年度の会議を下記のように福岡市で行なうことを企画しました。また、支部会議の後、懇親会も予定しております。会員相互の親善交流を深め支部活動の進展を図りたいと思いますので、どうぞ多くの方々のご出席をお願い致します。

サーバス九州支部会議

日 時： 2008年4月5日（土） 14時45分受付、15時—17時

会 場： 博多第一ホテル 会議室

住 所： 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-1-27 ; Tel:092-411-3501

{博多駅筑紫口（新幹線口）を出て3分}

参加料： 無料

支部会議内容：

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 支部長挨拶 | 2. 出席者紹介 |
| 3. 2007年度活動報告 | 4. 2007年度会計報告 |
| 5. 国内会議報告（2008年3月京都） | 6. 2008年度活動方針及び活 |

動計画

- | | |
|-------------|------------------|
| 7. 2008年度予算 | 8. 2008-2009年度役員 |
|-------------|------------------|

選出

9. その他

◎ 懇親会

日 時： 2008年4月5日（土）支部会議終了後、17時半より19時半頃まで

場 所： 和食どころ「博多いねや」

（上記博多第一ホテルより徒歩3分のホテルリッチモンド内）

食事代： 食事代一人3,000円程度

申し込み： サーバス九州事務局 中崎へ電子メール、電話、又は郵便にて

支部会議ご参加、懇親会ご参加の旨をお知らせ下さい。

○ なお、ホテル宿泊については、各自でお願いいたします。

申し込み締め切り： 2008年2月29日（金）

2. 会員情報

1) 九州支部会員数

2008年1月31日現在の九州支部の会員は、合計52名です。

福岡：11名； 佐賀：1名； 長崎：7名； 大分：15名； 熊本：3名； 宮崎：12名；

鹿児島：2名； 沖縄：1名

2) 移動、休会、退会のお知らせ

この1月より下記の3名の会員より申し出がありました。

○IEさんが関東支部へ移動されました。

○TJさんが都合で休会されます。16年間活動されました。「永い間お世話になりました。健康と状況が充分に戻ったら又復帰してサーバスを楽しみたいと思っています。」とのこと。

○KTさんが退会されました。

3. トラベラー受け入れ報告

○ 会員（福岡県M町）

1) 期間： 2007年4月5日～4月8日； オランダ、男性、女性

Jさんはインターネットで知り合ったメル友です。もう8年ぐらいになると思います。Jさんよりサーバスの事を教えてもらい私たちは5年前に入会しました。今回は1ヶ月の日本旅行の途中に我家で3泊していかれました。ちょうど桜の季節なので、小倉城にお花見に行ったり、貯水池の周りをサイクリングしたりして過ごしました。

2) 期間： 2007年4月10日～4月11日； フランス、母親、娘

お母さんと娘さんかと思いましたが、友達の娘さんとの事でした。Jさんはウエディングドレスのデザイナー見習いで我家に泊まっている間に正社員に採用されたというメールが入っていてとても喜んでいました。翌朝は庭の植物にお水をやってくれました。

3) 期間： 2007年4月13日～4月15日； ニュージーランド、男性

アウトドアが大好きで40歳で仕事を辞め(現在66歳)旅を続けているそうです、長い時だと1年のうち10ヶ月以上国を離れているとか。遠賀川沿いをウォーキングしたり、池の周りをサイクリングしました。家の後は東京に行ってそれからドイツに行くと言っていました。

4) 期間： 2007年7月18日～7月19日； フランス、夫婦、長女、長男

フランスからの5大家族、ご夫婦と10歳、9歳、6歳の3人の元気なお子さんです。最初2泊したいと言われましたが、5人も一度にお泊めしたことはないのので1泊だけしていただきました。翌日は貯水池にウォーキングに行きました。1ヶ月の日本の旅を、子供さんたちも楽しんでいました。

今年は4組のトラベラーを迎えました。最初の1組は私のメル友でもあるのももちろんその後も交流は続いています。でもあと3組の方は帰ったらそれっきりです。来られる前は何度もメールで時間の打ち合わせなどをしているのに、帰ってからありがとうのメールが無いのをおかしいと思うのは日本人的な考えでしょうか？ただのホテルと思っているのでしょうか？なかには我家に来てすぐJapanホストリストを取り出し、明日泊まる家を探している方もいました。できるだけ受け入れをして交流したいと思いますが、今はちょっと消極的な気持ちになっています。

○ 会員（福岡市）

期間： 2007年3月24日～3月25日； オーストラリア、女性、男性

オーストラリア人のカップルを受け入れました。奥さんは兵庫県の中学校のALTで、ご主人は町の人に英語を覚えておられるフレンドリーなカップルでした。(昨年末でALTの契約が終わり現在はオーストラリアに帰国しておられます)今回は実際に訪問される前にメールで九州・沖縄旅行のコース作りやエコノミカルな交通機関の選択等で相談を受け、九州圏外からの旅行者に有利なSunQパス使用等の提案を含めてお手伝いが出来、大変喜んでいただけました。実際に到着された日はあいにくの雨模様でしたが市内を案内し、翌日も東長寺や櫛田神社など観光のあと、次の訪問地熊本へと出発されました。

○ 会員（福岡市）

期間： 2001年1月12日～1月15日； 韓国、母親、娘

家族4人で日本観光旅行の最後に奥様と下のお嬢さんが来られ、3泊4日されました。家庭科の教師でいろいろ小物や和菓子に興味を持たれ、お土産にたくさん買って帰られました。お嬢さんは塾通いや習い事で遊ぶ暇がないらしく、ストレス解消のためのようでした。奥様は進学のための授業が増え家庭科の授業が減って、韓国民としての伝統的な生活の基礎を教えたいのにと悩んでおられました。e-mailの交換はしております。

○会員（佐世保市）

期間： 2007年12月31日～1月1日； フィンランド、父親、長女、次女

かわいい女の子たちと面白い正月になりました。除夜の鐘つき、元旦の雑煮、和服の着付けなど。父親が教師でしたのでフィンランドの教育制度についてたっぷり話を聞きました。世界一の教育環境を持っていると思いました。3人とも完璧な英語を話すのに驚きました。大国に接した小国が国際的に通用する国力を高めるために、格差のない国づくり、競争のない教育を生み出していることに感銘を受けました。父親は6ヶ国語を話し、娘たちは他にスウェーデン語、スペイン語を話しました。娘の子の一人は日本語を勉強していました。テレビ映画はすべて外国もので、しかも字幕が付くことはなく、子供は外国語の豪雨の中で育つとのことでした。

○ 会員（大分市）

期間： 2008年12月18日～12月19日； 米国、夫妻、長男、長女

アメリカ、オレゴン州からのお客様4人を受け入れました。お父さん、お母さん、そして、ご長男（21才）、長女（18才）の4人家族です。彼らは、日本は初めての訪問でした。しかも、日本に着いて一番に九州に来られました。したがって、日本の事は何を見ても聞いてもめずらしいらしく、由布院と別府をご案内したのですが、何処へご案内してもベリーグッドの連発でした。特に、風呂敷を折りたたんで、すばやく手提げ袋にする技には、お母さんが、いたく感動、早速風呂敷を購入、その折方を熱心に勉強されていました。当初は、17日から2泊3日の予定でしたが、日本への到着が一日遅れ、1泊2日になりました。私たちも、当初予定していたところを、全てご案内は出来ませんでした。夕食を囲んでの楽しい語り、食後、ほとんど文章になっていない英語で、電子辞書片手に夜のふけるのも忘れて語り あいました。

○ 会員（大分、BO市）

期間： 2008年12月28日～12月30日； フィンランド、父親、長女、次女

暮れの28～30日。14才、17才の女の子とお父さんの3人を受け入れました。年末の受け入れて、思うようにお世話ができなかったことを心苦しく思っています。それに、直前まで連絡が入らないという心配が重なって、3人に会うまでは、大変気になりましたが、顔を見たとたん心配もいっぺんに消えうせてしまいました。日本が大好きで、日本人が好きな親子でした。フィンランドの日本人熱は大変高いようで、特に若い子達の日本に対する評価は高いと聞きました。漫画から得る知識がすごかったことも驚きでした。私のうちの近くに同年齢の高校生がいますが、是非会いたいとのことで、早速遊びに来て、夜遅くまで話が弾んでいました。良いお友達ができたと、親子ともども喜んでいました。振り返ってみますと、忙しい時期にこられたことが幸いして、外出が少なかったので女子高生とも一緒に遊べましたし、趣味の囲碁を夫と思う存分楽しみましたし、フィンランドから持ってきたチェスを一緒にやったり、木工を楽しんだり、忙しいときはそれなりの受け入れの方法もあるのだということ今回勉強し、今後の参考になりました。さて、新しい年2008年は、どんな出会いが待ってるのでしょうか。無理をせず、できる範囲で楽しくサーバス活動をしていきたいと思っています。

4. サーバス旅行報告

○ イギリスを旅する（2007年8月4日～8月18日）

筑紫野市 会員

フランスへの旅の一ヶ月後にまたイギリスをひとりで旅することになった。福岡の友人桐生真紀さんがロンド

ンで初の絵の個展をすることになったのだ。彼女の作品が大好きで私との縁が実現に結びついたこともあり是非見に行きたかったし手伝いたかった。

8 / 4 (土) 夕刻ロンドン・ヒースロー着。チェックイン後ライトアップされたタワーブリッジを観に行く。水面はきらきらと輝き白く浮かび上がる橋はため息が出る程美しい。時折真っ赤なWデッカーが橋を渡っていく。あたりは観光客でいっぱい夜景にも目を奪われる。突然、川を渡る船から賑やかな音楽が鳴り響いた。船内で沢山の人影が一様に身体を揺らしてダンスに興じているシルエットが浮かび上がる。若いってイイ !!!

8 / 5 (日) 美味しいという触れ込みのイングリッシュ・ブレックファストはやはり期待はずれ。ドイツ風ソーセージに馴染んだ日本人はイギリス独特のソーセージ・バンガーズを美味しく感じない。「イギリスはおいしい」の林望氏によればかつて飢饉の時に欠如感を和らげる為ソーセージにかなりのパン粉を練り込むようになった。いわば非常食で味をとやかく言うのは妥当でないとか。このソーセージとは最後までお付き合いすることとなる。今日は思いっきり日光に当たろうとリージェント運河のナローボートに乗る。パディントン駅から徒歩15分でリトルヴェニスに出る。フリーマーケットで人気のカムデン・ロックまで所要50分。チケット購入時に釣り4ポンドをくれなかった。忘れたのかどうかは不明。勿論返してもらおう。木漏れ日の中をゆったりとボートは進む。色とりどりのボートにはレストランや住居もある。カムデン・ロックは若者好みで活気があり地下鉄の駅から人が掃きだされるように出てくる。昼ウォータールー・イースト駅で汽車の座席予約をする。ユーロスターの発着駅でもあり人で溢れていた。午後、南イングランドの美しい田舎町ライに向かう。二時間の汽車の旅である。イングランドで一番絵になるといわれる石畳の坂、ヘンリー・ジェームスの住い、その昔は海賊の町だった。セント・メアリー教会には最も古い時計があり天井から巨大な振り子がゆっくり揺れている。あんまり暑いのでパブに入りキネスを飲む。何度でも訪ねたい町である。ロンドンに戻る時「乗り換え便が無い時は云々」と放送がありアッシュフォードで隣の汽車に皆一斉にダッシュし上手く乗り継げた。夜、Dに電話をする。

8 / 6 (月) 朝、ユーストン駅の下見に行き宣伝用のペットボトルの水を二本も貰う。ラッキー!!! キングス・クロス駅で「ハリー・ポッター」の93/4 プラットホームを探す。駅もなかなかの雰囲気だ。時間が無く大英博物館ではエジプトの展示のみをゆっくり観る。個展会場は大英博物館の前で午後から手伝いをした。友人に好みの色を聞き花を注文する。ストラトフォート・アポン・エイボンのシェークスピア劇の予約をする。夜、桐生夫妻にギリシャ料理をご馳走になる。さすがに疲れていたのかその晩ホテルでとんでもないことが起こる。ベッドの上で翌日の準備をしていたが目が潰れそうな程眠かった。右手の紙切れをゴミだと三度破いた。「まさか!」それは日本でしか買えない4日分のレイルパスだった。あまりショックは無かった。航空券でもパスポートでもない。高い授業料だが切符は買える。不思議に良く眠れた。

8 / 7 (火) それでも朝ユーストン駅に急いだ。「眠くて眠くて目がつぶれそうで破ってしまいました。再発行してもらえませんか?」と私。すると「問題ないよ。」とテープで張り合わせ手書きの書類が添付され「控えを取っておくので何かあれば電話をして貰って」と言われる。イギリス人は優し〜い!!! フランスでは二人分のレイルパスを大事に扱っていたのである。疲れた時に大事なことはしないと肝に銘じる。その後どの車掌も破れには目もくれず日付のチェックのみしていた。何とおおらかな!!! さて今日は個展の初日だ。Dと再会し一緒にギャラリーへ。友人夫妻は極度の緊張感に包まれているだろうと察したが、私はといえば手伝いも出来、その場に居あわせるだけで感動していた。それも彼女の作品の持つ力故だ。個展は盛況だった。是非彼女(KMさん)のサイトを覗いてみていただきたい。

m-kiryu.n3.net (シンプルにこれだけ)

午後ドロシーとハイドパークでおしゃべりを楽しむ。プライベート・ビューもお祝い気分で盛り上がった。

8 / 8 (水) ユーストン駅7:46発の汽車でロンドンを離れる。大都市からは一刻も早く脱出したい。昼、湖水

地方のウィンダムミアに着く。食料を調達し熱々のぐるっと巻いたソーセージを(ドイツ風)ランチにする。旨い! 駅から徒歩二分の宿にチェックイン。汽車の旅は便利さが何より勝る。隣に日本人女性が二人着いたところだ。リュックに荷物をさっと詰めベアトリクス・ポターが住んだヒルトップヘウォーキングに出掛けることにする。さっきの女性が窓から顔を出し同行したいと言われ一緒に出掛ける。オーナーがボーンズまで送ってくれたが荒っぽい運転であつという間に着いた。このオーナーいちいち「ちえっ!」と言う顔で目をそらす。感じ悪〜と思ったがじきにジョークだと分かる。気はいいようだ。ボーンズからフェリーで渡りヒルトップを目指す。彼らはフリースジャケットを持参、8月だが秋のように爽やかだ。人気のタワー・バンク・アームズでお茶を飲む。ホークスヘッドに行くつもりが帰りのバスが無い可能性もあり引き返す。ボーンズでしばし水辺で戯れる鳥たちに餌をやる。強気の白鳥が私の前に陣取り餌をねだる。となると小さいのや気弱な鳥にやりたくなるのが常だ。最後にこの白鳥、何と地団駄を踏んだ。三人で大爆笑。夜レストランで楽しい夕食をとる。ビールが美味い!ここは緑っぽい黒いスレートの家が並び独特の趣で赤や青、緑の窓の棧との強いコントラストが何ともいえず美しい。

8 / 9 (木) 終日バスツアーに参加。ツアー利用も時に効率がよい。11の湖、クルーズ、滝、アンブルサイド、グラスミア、ケズウィック、バターミアなどへ。先客の女性が一人、総勢7人のツアーだ。しかし5人が待てど暮らせど現れない。快晴の中1時間も待たされやっと連絡がつく。家族の誰も英語が解からず約束の場所に着けなかったのだ。「ご迷惑ならキャンセルしたい」と言われ二人だけの貸切になる。時間延長を交渉、お詫びにと普段行かない所へも案内され結果はラッキーだった。昼ドライバーがカフェかスーパーか選択肢は二つと言う。カフェなら長い休憩になる。当然二人は「スーパー」と叫ぶ。時間とお金の節約だ。ドライバーにサンドイッチ、水、りんごを買い彼も上機嫌で楽しい一日となる。彼女はスイスの日本人学校長で是非遊びに来てと誘われる。夜、スーパーで買物し東京の二人とパーティーをした。とても疲れたが充実した一日だった。

8 / 10 (金) 朝、乗馬の予約。10:00 コニストンに向かう。今にも降り出しそう。渋滞に巻き込まれ40分遅れる。左右2cmの狭い中をバスが通り抜けた時一斉に拍手が起こる。若いが上手いドライバーだ。コニストンでベアトリクス・ポターの小説を買い午後、霧雨の中トレッキングはスタート。「トト」という白と黒のコンビのきれいな馬だった。久し振りなので嬉しくてたまらない。山を登ったり草原を進んだり満喫した。いつしか日が差していた。ホークスヘッドに立ち寄りワーズワースが学んだグラマースクールやポター・ミュージアムを廻る。スコットランドのクリスに電話する。夜、シャワーのノブが取れお湯が止まらない。部屋に電話も、フロントにベルも無い。近くに私室のドアがあるが鍵がかかりTVの音が漏れてくる。ノックしても呼んでも届かない。やむなく携帯でホテルに居乍らホテルに電話しやっと繋がる。おかしな話だ。小さなホテルの不便さを味わう。寒くてフリースを着て寝る。

8 / 11 (土) 雨上りで肌寒い。朝ウィンダムミア湖クルーズを楽しむ。バスのドライバーが釣りが無いと言い他の乗客も文句を言う。デッキは濡れてかなり寒く景色もくすんでいる。船が遅れ予定のバスを逃してしまう。午後から近くのケンダルのメンバーを訪ねる予定だ。何と汽車に間にあった。駅でパディが名前入りの紙を持って出迎えてくれた。JとPはクエーカー教徒でジェーンはロンドンに行き今夜戻るとか。Pの顎鬚ともじゃもじゃ眉について聞いてはいたがまさに炎が燃え上がるように立派だった。街の中心から徒歩8分で家に着く。もう15:00を廻っていて喉は渇くし昼食もまだでお腹がすいてたまらない。ビールで喉を潤しサンドイッチをかじりながら丘の上の城址を目指す。僅かに石組みが残り緑の絨毯のような美しい丘には次々に犬を連れた人が散歩にやってくる。イギリス人は実に犬好きだ。バスや汽車に堂々と乗れ、船内には水飲み場もある。丘から歴史を感じさせる落ち着いたケンダルの街が見渡せゆつたりと過ぎす。週末で賑わいマーケットも盛況だ。16~18世紀に建った古い家並みと路地があちこちに残り散策するのは実に楽しい。家に戻るといい匂いが漂っている。Pの手料理は美味しかった。穀類の団子と子羊の煮込みにじゃがいも、にんじん、カリフラワーなどの温野菜、デザー

トはイチゴとアイスクリームだ。ここ数日プレスリーの没後 30 年のニュースで大騒ぎだ。湖水地方では毎年音楽祭が開かれ今年はケンダルで行われる。クッション入りの袋を肩に掛けたパディと教会に向かうが足が早く追いつくのが大変。木造の天井の古い教会での若手音楽家達のクラシック・ライブは見事な演奏で大満足だった。いい機会を得てお二人に感謝した。22:00 過ぎ、外は激しい雨。家路に着くと既に眠りに就いたジェーンの背中が見えた。

8/12 (日) 快晴。朝やっとジェーンに会えた。私が初のサーバゲストで短すぎるわと言う J と話し込む。大好きなポーリッジにヨーグルト、シリアル、フルーツを乗せいただく。午前中クェーカーの集会があり一人で街に出る。ライムストーンの家々を縫って坂の多い街を歩く。カフェに 100 年前の街を撮った大パネルがあり写真を撮らせてもらう。昼からアート好きの私の為にと郊外のクラフトセンターに出掛けた。目に沁むような若草色の草原で羊達が草を食んでいた。まずトマト味の濃厚なスープとハーブパンで空腹を満たす。デザートは熱いスティッキープディング。センスのいいクラフト作家達の作品が多く見応えがある。昔は羊毛工場でも大判の膝掛けを織っている。ジェーンが一枚購入。帰途 17 世紀に建ったクェーカー教の集会所に寄る。小さいが静かな空間だ。サイロで発酵した味噌に似た匂いが漂ってくる。城址を逆から眺めつつ街に戻る。夕食はぶ厚いスペイン風オムレツのトマトソース添え、じゃがいも、ブロッコリー、ゴツジェットなどの温野菜、アイスクリーム添えのクランベリーケーキ。野菜作りは二人の趣味だ。食後ひな壇の裏庭の 54 段の階段を駆け上がり絶景を楽しむ。りんごの木はたわわに実っている。明日はシェークスピアの街へ移動。何だか荷物が少し膨らんできた。

8/13 (月) 青空が覗くが涼しそうだ。手作りパンと数種のシリアルにヨーグルト、フルーツを乗せいただく。最初の乗換え駅オクセンホルムまで送ってくれた。お二人には本当によくしていただいた。汽車が遅れて早めの 7:44 発に乗車。ストラトフォード・アボン・エイボンまで後三回乗り換える。リクエストで止まる駅があり面白い。老人がスーパーの袋から口だけ覗くワインをちびちび飲んでいる。やおら指に唾をつけ紙巻タバコを巻き始めた。まるで映画の一場面だ。午後ストラトフォード・アボン・エイボン着。快晴。B & B で一泊なのに二泊のはずだと言われ予約コピーを見せて解決。予約した無料自転車で出掛ける。案内所でコッツウォルズのバス時刻表をもらう。自転車は効率もよく何より気持ちがいい。シェークスピアの生家、ナッシュハウス、ホールズクロフトなどを観て妻アン・ハサウェイの実家へ向かう。少し遠いが自転車であつという間に着いた。立派な茅葺の美しい家だ。気がつく眼鏡のネジが飛び壊れていた。予備の眼鏡が役に立つ。運河にはナローボートが係留しており一隻のボートが水門を開閉しているのを人垣がとり囲んでいる。ナローボートの旅には本当に憧れる。喉が渇いてパブに入る。美味しい!! 夜、コートヤード・シアターに行く。小屋の造りが面白くシェークスピア劇「リチャード二世」を観る。満足、満足!!! 帰り道またパブに寄る。

8/14 (火) 早朝、雨の中シェークスピアと家族が眠るトリニティ教会へ散歩した。墓は中にあり時間が早くて入れない。朝食をたっぷりいただく。コッツウォルズのバス移動は難しいといわれるが上手くいくのを願うのみだ。荷物に手作りカバーをかけ 9:25 のバスでボートン・イン・マーシュに向かう。無愛想に釣りが無いという。またである。なけなしのコインを出すもう一度乗り換えがあるし乗継ぎも 5 分しかない。隣の老婦人に私の代わりに両替を頼むと「まかせなさい」と引き受けてくれた。東洋人に冷たいドライバーも老婦人には断れまいとの判断。土砂降りバスが遅れる。ドライバーが指さすバスに飛び乗り間一髪で間に合う。何と釣りが無いなど言いそうにもない可愛いドライバーだった。ストウ・オン・ザ・ワールドで雨足がひどくなる。寒いのでスコーンとティーで温まる。店員が「同じバスに乗ってたの」と話しかけてきた。強風と雨で傘が壊れる。上質のアンティーク店が 50 店程あるが今回荷物は増やせない。バス停で年配の女性達がプラスチックのコインを持っている。「ある歳になると政府から乗物が無料のコインが貰えるの」という。13:45 にボートン・オン・ザ・ウォーター着。コッツウォルズのウヰェニスと言われ雨でも観光客で賑わっている。案内所でバス時刻表をもらう。傘を購入し今夜はパブ&インに泊まる。アッパー&ローワー・スローターへのフットパス・ウォーキングは雨で断

念。街の中央を澄んだ水が勢いよく流れ低い石橋がいくつも架かっている。鴨も沢山泳いでいる。おまけに雨に打たれてことさら美しい。この雨はギフトかもしれない。雨上がりのハニーストーンの家並みもそれは美しかった。宿のレストランは本格的で初めてワンポイントのビールを飲み酔った。

8 / 15 (水) 早朝パッカパッカと足音がする。窓の下を馬が走り抜けていく。小雨が降り始めた。荷物にカバーをする。朝はポーリッジに生クリーム、ブラウンシュガーをかける。驚くほど上品で美味だ。バス停で湖水地方で会った日本人と再会。9:35 のバスでサイレンセスターに向かう。二年前ホームステイした時訪ねたことがあり懐かしい。歴史家のホリングローブ卿から説明を受けたものだ。10:45 のバスでバイブリーへ。いきなりスワンホテル前に降り立つ。川は澄んで大きな鱒が泳いでいる。幻想的なアーリントン・ローに向かう。次のバスまで3時間ありゆっくり過ごす。久しぶりにホリングローブ夫妻に電話をした。雨がばらついたりカンカン照りになったり土砂降りになったりと天気はころころ変わる。私だけが荷物を引いている。テロ以降預かる所が少ない。14:05 のバスでサイレンセスターに戻る。案内所で日本女性と知り合いお茶を飲もうということになる。共に「飲めないけど」と言いつつパブでビールで乾杯。友人宅に長期滞在しているそうだ。旅先での出会いは実に楽しい。いつか一緒に旅をというほど意気投合。16:35 のバスでチップナムへ移動。道中それはひどい土砂降りになる。B & Bのオーナーが迎えに来てくれた。今夜はレイコックの16世紀に建った小さな素敵な茅葺の宿である。村を散策し創業400年のパブ「ジョージ・イン」でフィッシュ&チップスとビールを注文。ロンドンの三倍近い値段だが食材どれも新鮮で格段に美味しかった。婦人会の会合に出ていたN(f)とコテージに戻る。

8 / 16 (木) 快晴。朝は飼い鶏の卵のスクランブル・エッグ、グリルトマトとあのソーセージだが一番美味しいイングリッシュ・ブレックファストだった。Nと会話を楽しみとりわけ会いたかった羊のフローラとフレッドに会いに行く。傍らを馬が走り抜けていった。彼女を見ると大声でメーメーと鳴く。8ヶ月になった彼等はペットなので安心だが「普通は食用に出される時期よ」という。「高慢と偏見」「ある晴れた日に」「ハリー・ポッター」他多くの映画が撮影された素敵な村である。教会、数百年の老舗ホテル、ネガを発明したタルボットの館、美しい梁が残る古い納屋や家並みなどだ。突然「ブルルン」という爆音と共にクラシックカーが駆け抜けた。何と老紳士である。昼Nがチップナムまで送ってくれ写真を沢山いただく。12:20 のバスでカッスル・クームへ。このバスは日に4本しかない。イギリスのバスはぶっ飛ばす。以外に時間に正確で驚く。カッスル・クームは短い通りが一本のみの小さな美しい村だ。前日の女性とその友人に再会し一緒に昼食をとる。ビールをレモネードで割ったものを飲む。14:39 のバスでチップナムへ。汽車で15分でバースに到着。中心部は観光客で溢れていた。今日はメンバーのDとFのお宅に伺う。Dに電話しフィレンツェのウエッキオ橋を模した石造りのパルティニ橋(そっくり)を渡り大通りを進む。落ち着いた美しい家並みが続く街だ。彼等はブリストルの別の大学でコンピューター・エンジニアと司書をしている。庭でお茶をしながら過ごす。ボリスという名の愛猫がいる。Dが夕餉の支度をする間Fと散歩に出る。運河沿いを歩き美しい公園を抜けながらいろんな話をする。馬車仕立てのタクシーが通る。ベジタリアンなのでたっぷりの野菜サラダとトマト、コジェット、チーズなどのパイは美味だった。デザートは手作りのベリージャム風にヨーグルトと濃いクリームをのせたもの。日本人のゲストは初めてだとか。スコットランドのKに電話し旅の話で盛り上がる。

8 / 17 (土) 最後の一日だ。8:00に下に降りるとダイアンはもう仕事でいなかった。向日葵の種などが入ったパンにバター、ジャム、チーズ、ミルクティーをいただく。イギリス人は普通イングリッシュ・ブレックファストは食べないと聞く。フィルはパンには拘りがありブリストルに美味しいパン屋があるという。9:30に出掛けビクトリア・アート・ミュージアムに案内された。1階は抽象画、2階は落ち着いた絵が並ぶ。10:30に無料ウォーキングツアーに参加。人数が多くグループに分かれる。ローマ時代の話、建築物や建築家について、お湯にまつわる話などを聞く。ジェーン・オースティン館は素通りで残念だった。予定の2時間を過ぎてもツアーは終わらず残念だったが途中で抜ける。荷物を取りに戻りつつレイコックで買ったパンをかじる。う～ん、まずい。用意

してくれたスープをいただき別れの時が来る。素朴なお二人にもよくしていただいた。14:43 の汽車でパディントンに向かう。それまで移動は全て順調だったがパディントン駅の前で汽車が何度も止まる。動いたかと思うとまた止まる。パディントンからヒースロー・エクスプレスで 15 分で空港へ。混雑で手間取り持たせてくれたサンドイッチを頬張る暇もなかった。ヒースロー19:00 発の便で帰国。

思い返すと始めてのひとり旅にも拘らず何故か終始リラックスして楽に旅を続けることが出来た。サーバスを通じての新しい出会いは新鮮で得難いものだった。

最後に一言・・・わたくし普段は殆ど飲みません。少し強くなれたとしたら嬉しいです。

それにしても美味しかった !!

○ 韓国のサーバス会員夫妻を訪ねる

大分市 会員

12月11日韓国のご夫妻を福岡の彼らの家に訪ねました。ご夫妻は、9年前にサーバーとして我家に訪問されたことがあります。昨年夏、9年振りに奥さんから、ご主人が2年間福岡市役所に勤める事になり、今福岡に住んでいると電話がありました。ぜひ一度お会いしたいと言う事で、12月11日の訪問となりました。御主人が、福岡駅まで迎えに来て頂き、百地浜の彼らのアパートを訪問しました。9年前に、我家にこられた時はまったく日本語の出来なかった、奥さんが今は片言ながら、日本語もかなり話せるようになっておられ、奥さんの手作りの韓国料理を頂きながら、9年間にあった色々な話に花が咲きました。最後に、彼らが日本に滞在している間に、必ず大分にも、来て貰うことを約束して、旧交を温めた1日となりました。(写真は、私の妻と奥さんそしてご夫妻のお嬢さんです。)

5. サーバス活動の感想

私のサーバス2007年

大分市 会員

1月 例年通り娘夫婦の住む彦根市で過ごす。三重県のサーバス東海、北陸支部長のYさんの案内で初めての伊勢神宮参拝をする。

2月 スリランカへ(16日間の一人旅)。知り合いのMさん(母)の御両親の住むガンパハ(コロンボの近く)でホームステイ。

△ キャンデイへ(列車にて日帰り)

突然連絡したのに、サーバス会長さんが駅まで出迎えてくださり、市内の観光案内までしていただきました。その後、ホストリスト係のご主人とピースセクレタリーの奥さんの経営するレストランで食事をし、短い時間でしたが、楽しく過ごしました。(お名前を忘れて申し訳ありません) キャンデイは丘陵地帯の中心地として小さな人造湖と華やかな王朝時代を偲ばせる遺物を多く残した美しい町でした。

△ マータラへ(車にて4泊5日)

Mさんの知り合いのフランス人ダニエルさんの別荘はあの津波の後に建てられたインド洋に面したところで毎朝新鮮な魚が手に入るのので刺身で食べてみたがおいしくないのフライにして食べました。サーバス会員の方と約束の指定された時間にお伺いした場所は学校でした。(小学校から高校)急に時間が取れなくなったとのことで挨拶のみで別れました。Mさんの家はまるで植物園の中にあり、いろいろな鳥の声で目を覚まし、庭で採れたバナナやマンゴウをいただき、天国のようでした。でも海外で初めて体調を悪くし、(暑さと食事があわず)とても心配をかけてしまいました。老いた私に長いホームステイは難しかったのです

4月 韓国へ

極東アジア会議に参加。私の73歳の誕生日が重なって思いがけず皆さんから盛大に祝っていただきとてもラッキーでした。ありがとうございました。オ○さんの家で日本人、パキスタン人、韓国人、延べ9人

の宿泊の手伝いをしました。

6月 東海、北陸支部会へ参加

昨年同様会員の M さんの別荘(長野県)での支部会は会員のほか韓国の厳さんや近畿支部の水野さん等の参加もあってとても楽しかったです。

7月 近畿支部会へ参加

京都祇園祭りの日で楽しみにしていましたが生憎の台風でした。でも韓国、関東支部からの参加もあって皆さんにお会いできた事は有意義でした。

8月 京都の近畿支部長 S さんのお宅にホームステイ。

久しぶりの京都を歩くのが下手な私を車で案内していただき大変お世話になりました。

9月 東海、北陸支部会へ参加

三重県の支部長 Y さん宅での支部会に京都で諏訪さんと待ち合わせて参加。 関東支部の K さんも参加。美しい志摩半島のドライブはとても楽しかったです。

11月 韓国へ

紅葉の一番美しいとき、テグでの韓国国内会議に参加。

大きなホールで家族共100名位の参加、外にカナダ、アメリカ、台湾からも参加。とてもにぎやかで楽しい会でした。一泊の後、ドライブをして別れました。今の日本では難しいでしょうね。

* 交通の便の良い事もあって、近畿支部、東海、北陸支部は他支部との交流もあり1年の半分を滋賀県に居る私がお誘いを受け参加させていただいてサーバスがとても楽しくなりました。本年は九州支部に参加出来ず残念でしたが....。

6. 各地区での活動

関東支部の副支部長を囲んでの集い

宮崎市 会員

関東支部の副支部長さんが、11月9日に宮崎に滞在されたいとの連絡を受け、宮崎のサーバス会員が我が家に集まり、楽しい集いを持ちました。その中で、副支部長さんが計画実施中の「国際サーバス草創期のメンバーにインタビューして、サーバスの原点を探り、DVDに記録する」(日本サーバス国内会議で承認済み)の一部である創期の貢献者 Bob Luitweiler 氏(米国)へのインタビューが紹介されました。副支部長さんの米国27年滞年の経験をいろいろと伺い、トラベラーの受け方及ホームステイ希望の際に送る Letter of Introduction の記述の方法など大変参考になりました。ありがとうございました。参加者は10名でした。

7. 2007年度九州支部の活動報告

サーバス九州支部の活動(2007/01/01-12/31)の報告を行ないます。

1) 活動報告

- a) 12月31日現在の会員数： 54名
- b) 新入会員数 : 0名
- c) 退会・休会員数： 退会 1名； 休会 1名
- d) 認証トラベラー数：合計8件(スタンプ使用枚数：8枚)
会員6名； トラベラー会員2名
- e) サーバス旅行者数 合計7名
福岡 3名、佐賀 3(1)名、長崎 1名、大分 3名、宮崎 5(1)名； 括弧内は非会員
- f) 外国からのトラベラー件数 合計30名
トラベラー受入延べ人数合計62名(福岡23名、長崎15名、大分20名、熊本1名、宮崎3名)

2) 会計報告

2008年1月31日に九州支部会計監査のHTさんに収入支出決算等の会計監査をして頂きました。その報告をこの会報の最後に添付いたします。

その概略は、2006年度繰越309,840円を含めた2007年度の収入額は、490,367円、2007年度の総支出額は、188,822円です。2008年度への繰越額は、301,545円となりました。

8. 会費納入のお願い

今年度の会費の振り込みをまだされていない方は、下記の口座へ振込をお願い致します。

郵便振替先

口座番号 記号： 01950-6； 番号： 364

41

加入者名住所： サーバス九州事務局

郵便番号 889-2153

宮崎市学園木花台南 1-2-9

9. トラベラー受け入れ及びサーバス旅行レポート等のお願い

トラベラー受け入れ又はサーバス旅行をされた方からの体験談・報告を下記の事務局へお寄せ下さい。会員間の情報交換になりますので、手紙又は電子メールなど短くても、また、写真添付もよいですのでお願い致します。